

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS



No.267 令和6年3月1日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

元区議会議員の逮捕についての緊急報告

元千代田区議会議員が逮捕されたことについて等 …… 1面

令和5年第4回定例会

- 代表質問 …… 2～3面
- 一般質問 …… 4～6面
- 定例会活動報告等 …… 7～8面
- 委員会で取り扱った請願・陳情等 …… 9面
- 議案の審議結果等 …… 10面
- 令和5年第4回定例会 会期日程等 …… 11面
- 令和5年の議会活動から等 …… 12面

今号は令和5年第4回定例会の報告を主とし編集していた内容を急遽一部修正してお届けしています。今後の議会の対応は次号以降でもお伝えしていきます。

元千代田区議会議員が逮捕されたことについて

千代田区議会議員 秋谷こうき

元区議会議員である嶋崎秀彦氏が、官製談合防止法違反容疑で1月24日に逮捕されました。区民の皆様及び関係各位に多大なるご心配、ご迷惑をおかけしておりますことを心からお詫び申し上げます。

区議会は、区民からの厳粛な信託を受けた立場と職責を深く認識し、その品位と名誉を損なう一切の行為を慎むとともに、区民全体の奉仕者として、人格と倫理の向上が求められます。

区議会として、今回の事態の重大さを真摯に受け止め、今後、区民の皆様にご信頼されるよう、議員自らが襟を正し、全力で取り組む所存でございますので、ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

なお、ちよだ区議会だより第267号(本号)は1月30日の発行を予定していましたが、本件を受け内容の一部差替えを行ったため、皆様のお手元に届くのが遅れてしまいましたことを、重ねてお詫び申し上げます。

令和6年2月14日に開催された第1回定例会本会議で次の2議案を全会一致で議決しました

千代田区議会の信頼回復に努めることを誓う決議

区議会は、区民の負託により区政に携わる職責を有することを深く認識し、その負託に応えるため、政治倫理の向上と確立に努めていく必要がある。

しかし、本区議会議員と元職員が、官製談合防止法違反容疑で令和6年1月24日に逮捕され、同日に千代田区役所と区民の代表機関である区議会が家宅捜索をされるに至った。千代田区民そして先達が積み重ねてきた千代田区政の信頼を裏切り、区政及び区議会に混乱をまねき、区と区議会の信用を著しく失墜させた。

現在、同元議員の身柄は勾留されたままであり、区民、区議会に対する説明責任ははまだ果たされていない。本区議会は、事件の重大さを真摯に受け止め、二元代表制の意味を再認識し、事実確認に努めるとともに、二度とこのような事態を引き起こすことのないよう再発防止について早急に検討を進め、区民にご信頼される議会運営及び改善に全力で取り組まなければならない。

よって、本区議会は、議員一人一人がその職責の重さを自覚し、襟を正すとともに、政治倫理の向上に向け全議員が一丸となって、区民からの信頼回復に努めることを誓うものである。

以上、決議する。

令和6年2月14日 千代田区議会

契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会の設置

本年1月24日、元区議会議員及び元区職員が工事契約に関する官製談合防止法違反容疑で逮捕されました。これにより、区民の信頼を大きく裏切ることになりました。

千代田区議会は、区民からの厳粛な信託を受けた立場と職責を深く認識し、その品位と名誉を損なう一切の行為を慎むとともに、区民全体の奉仕者として、人格と倫理の向上が求められます。

区議会及び行政は、この事態の重大さを真摯に受け止め、二元代表制のあるべき姿を再認識し、区民にご信頼されるよう全力で取り組まなければなりません。こうしたことが発生する背景、とりわけ組織や制度の不備などを徹底的に洗い出し、具体的な再発防止策等について可及的速やかに調査・検討を進めるべく、本特別委員会を設置するものです。

調査事項

- 特別職を含めた職員や利害関係者との関わり方など、議員の倫理向上に関する事項
- 不祥事再発防止対策に関する事項

委員(12名)

- 委員長：小野なりこ
- 副委員長：小林たかや
- 委員：大坂隆洋、のざわ哲夫、えごし雄一、牛尾こうじろう、はやお恭一、はまもりかおり、白川司、田中えりか、岩田かずひと、富山あゆみ

設置期間

調査の終了するまで

Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

#次世代・都民ファースト・立憲の会 富山 あゆみ



仮想空間登校(VLP)の選択肢を増やそう!

問 登校にトラウマ、障害等の困難を抱えている児童らの選択肢を増やすべく、フリースクールやオンライン授業に加え、仮想空間のバーチャルラーニングプラットフォーム(VLP)を導入しては。

答 都の試行的運用を踏まえ、来年度にVLPシステムの導入を検討しており、新たな居場所と学びの場としての活用を図っていく。

認知症になっても地域で安心して暮らすために

問 認知症を支えるオレンジサポーター制度を維持しつつ区民の制度への認知度やその間口を広め、多世代のサポーター養成講座へ

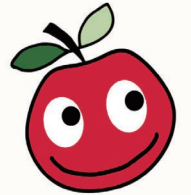
の参加を促す等、知識の普及啓発と地域で支える仕組みが必要では。

答 地域出張型の養成講座の展開や啓発イベントに学生ボランティアの活用、長寿会や民生委員との連携強化等、鋭意検討を進める。

読書バリアフリー図書館に「りんごの棚」設置を

問 布の絵本、点字図書、録音図書等が置かれたアクセシブルな本のコーナー「りんごの棚」や、若者が学習できるコンセント付き座席を設置し、広く区民に知らせて若者等の居場所を増やしては。

答 今まで利用が難しかった方へのアプローチにもつながるため、「りんごの棚」のようなアクセシブルな図書ブース等が限られたスペースの中でどのように設置可能か、また、周知方法等も検討する。



たな
りんごの棚

すべての子どもが読書を楽しめる場所

出所: Apple Shelf project

千代田区議会 自由民主党 西岡 めぐみ



第4次基本構想と予算編成の合意形成・行政運営

問 「構想」だけでなく長期的に5か年、10か年計画を立て、千代田区の進むべき方針を全体像で示し、議会や区民と共有する事により、合意形成ができるのではないかと。抽象的な表現が多い基本構想だけでは将来への方針が担保されない。長期計画が作成されないと、

予算編成においても、当初予算に誤差が生じやすくなる。



出所: 千代田区

また、公共施設整備でも区の事務執行を多角的に検討し、民意を反映した上で判断、決断すべき。今のような単年度毎の修正作業だけでなく複数年度の視点で「基本計画」の作成をしてはどうか。

答 実態かい離の指摘もあり、来年度は総合管理計画として作成予定。

第三者評価機関活用・子育て支援・介護福祉支援

問 現状、第三者評価機関からは事業評価や財務評価等、現場指導のみ。各業界事情や他区との比較検証による指標として第三者機関からの対話等を全庁的に標準化すべきではないかと。政府発表の「骨太の方針」や「総合経済対策」支援メニューを受け、本区全ての子育て世帯を対象に包括的な強化支援を。区民への介護サービスの質と利便性の向上を目指し、本区での介護DX方針を問う。

答 当該機関活用は全庁的な標準化を検討。子育て支援メニューの体系的なマネジメントを行う「サポートプラン」を作成予定。介護サービス基盤の強化と有用な介護DX推進支援を後押しする。

千代田区議会自由民主党議員団 白川 司



前回の予算審議における議論を踏まえて総括を

問 ①予算流用は臨時的手段で、無制限に認められるべきではない。その実行基準は②100億円前後の予算執行残を区はどう評価するか③ふるさと納税での減収の影響と本区で同制度活用の可能性は。

答 ①当初想定に不足が生じる一方、他で余剰が見込まれる際、相互融通が効率的な場合に実行②他区の割合に比べ高く改善が必要。予算現額に対し10%程度を目安に低下させるよう取り組む③減収額は年々増加し区財政に多大な影響を及ぼしている。現実的な対応を検討すべき段階にあり、制度活用に向け調査・検討を進める。

古い建物をそのまま残すために耐震防火に支援を

問 民間所有の歴史ある建築をそのままの形で残すため、耐震補強の助成を検討すべき。また、防火への取り組み状況と対策への見解は。

答 住宅を含む木造建物の耐震助成支援を実施。また、区内はほぼ防火地域指定がされ、初期消火用に地域配備消火器も設置済み。



出所: 議員本人提供

商店街活性化のために太陽光発電などに支援を

問 電気料金高騰の折、太陽光発電のニーズは電気消費の多いビルにこそ大きい。設置時の高さ制限緩和等の支援を検討できないか。

答 小規模太陽光発電パネルを屋上に設置する際の高さ制限緩和や、省エネルギー改修等における設置費用の一部助成を既に実施。

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団

米田 かずや



総合経済対策・物価高騰対策について

問 ①国の総合経済対策への認識は②物価高騰に苦しむ低所得世帯へ年内の給付を③重点支援地方交付金の活用では、国の推奨メニューだけにとらわれず、地域の実情に即した幅広い支援の検討を。

答 ①迅速・着実な効果を期待②今定例会の補正予算議決後に可能な限り早期に給付③国の所得要件を緩和した給付金事業を予定。

認知症施策・高齢者の活躍について

問 ①中高年齢期の社会参加を支援する(仮称)高齢者活躍地域相談センターを設置しては②認知症施策推進計画の進捗は③認知症へ

の正しい理解を深める運動の展開が重要と考えるが、見解は。

答 ①分野や領域を前提としない支援の実施方法を研究②来年度の成案に向け、関係者等から意見聴取して策定中③小学生向けや地域出張型の講座等を実施し、地域共生社会の実現に向けて取り組む。

薬物対策・若年世代のオーバードーズ^{*}について

問 今後の乱用防止対策は。若年世代に危険性を伝えるため、授業やホームページ・SNSでの周知やリーフレット配布を行っては。

答 警察等と連携した児童・生徒向け教室や、都区合同での市販薬販売事業者への一斉監視・指導強化を実施している。引き続き関係機関等とも協議を深め、SNS等を活用した情報発信に努める。



^{*}オーバードーズ:精神的な苦痛から逃れる等の目的で市販薬を過剰摂取すること。重大な健康被害や依存症を引き起こす危険な行為である。

ちよだの声

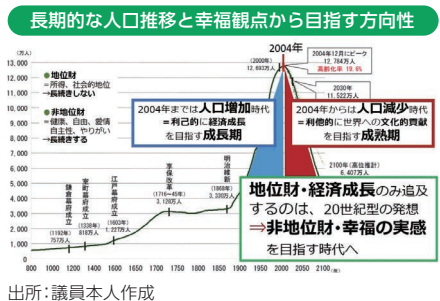
はまもり かおり



区民の幸福を実現するための区政について

問 区の仕事は区民の幸福度と非常に大きく関係している①区は区民のウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)の向上のために仕事をしていると考えるが、どうか②各種アンケート調査や施策検討の際に、区民の幸福度の観点を盛り込んで。

答 ①ウェルビーイングは区民とともに実現していくものと認識。基本構想はその実現に通ずる考えを示しており、区民



と共有しながら取組みを進める②実施例等を情報収集し、有効性や結果分析の視点、区政への活用の可能性等について調査研究していく。

内部統制の強化について

問 内部統制強化は住民が信頼できる行政サービスの享受につながる①区民の幸福度を向上させるためにも、全体方針の策定と全庁的な体制整備、ITを活用した見える化について、区の考えを問う②契約介入の報道は事実か。区政への影響と統制の強化策は。

答 ①国のガイドラインに準拠しながら、実情を踏まえ、創意工夫して内部統制に取り組んでいる。また、定期監査結果に基づき、講じた措置対応について公表し、リスクの洗い出しや区政の見える化を図り、透明性を確保しながら信頼感の醸成に努めている②区として回答する立場にない。今後も内部統制によるPDCAの重要性を再確認し、チェックシートの改善を図る等を行っている。

日本維新の会千代田議員団

春山 あすか



本区におけるこれからの道路行政について

問 ①道路行政の考え方は。車中心から人中心へ転換する方向か②放射街路27号線は事実上放置状態、今後の方針は③住宅地の街区内道路は人々が滞在・交流できる空間に回帰すべき。区の考えは。

答 ①安全・安心で快適な移動や滞在ができる、人中心の道路整備が基本②検討主体は東京都で現在も引き続き検討中と認識③合意形成手法や団体の支援等、生活道路の整備と活用のあり方を検討。

建物更新時の街区・敷地形成のあり方について

問 ①隣接地相互の空間・集合関係のあり方を検討すべき。街区・敷

地形成の将来ビジョンを描き、交渉方法も明示を②すでに形成された共用空間を街区単位で管理・マネジメントする仕組みが必要。

答 ①地域の価値向上や地域が抱える問題解決に資するものと認識。進め方等は今後検討②公開空地の利用状況を踏まえるとともに、住居系複合市街地での実現の可能性・持続可能性を含め研究する。

ゼロカーボンシティ・千代田区モデルとなる取組み

問 本区ならではの地球温暖化対策にどう取り組むか。将来のまちづくりにつながる千代田区モデルとなるような取組みの考えは。

答 お濠でのブルーカーボン^{*}事業の実現可能性や地方連携で地方の林業等の持続可能性を支援する千代田区モデルの検討を進める。



^{*}ブルーカーボン: 沿岸・海洋生態系に取り込まれ、蓄積される炭素

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

小林 たかや (自民党)



居場所づくりについて

問 ①不登校生の居場所づくりの現状と課題②NPOや民間との連携は③こども家庭庁の審議会がまとめた指針を進めては。

答 ①居場所として白鳥教室、スペシャルサポートルーム、民間施設、家庭があり、今後も選択肢の拡充を図る。通室者増加傾向の中、スペース・人員の確保、スキルの維持向上が課題②現在、フリースクールの調査研究を行っており、白鳥教室の機能拡充を図る③参考に研究していく。

富士見みらい館の今後について

問 ①PFI事業の課題②次期運営方法の検討は③民間開放のあり方の検討状況は。

答 ①利便性向上や予防保全的な改修の協議や対応に不十分な点があったと認識②維持管理、地域開放、給食は委託を前提。児童館は指定管理や民設民営等、課題を整理し検討③利用者意見の反映や区が予防保全を講じるための要件の追加を検討。

永田 壮一 (自民)



東京防災の活用について

問 ①8年前の配布以降と今回の改訂に併せた活用方針は②訓練に、緊張感と当事者意識を持って取り組めるよう、スイスの民間防衛を参考にすべき。

答 ①防災行動を参考に防災訓練等様々な取り組みの中で、広く区民等へ周知を図り、引き続き積極的に活用②武力攻撃等の脅威は予断を許さず、今後も都や他区と意見交換し問題提起等を図っていく。

葬儀施設について

問 区の公設葬儀場は万世会館のみ。区民が安心して葬儀を執り行える環境整備を求める①新たに葬儀可能な式場と納骨堂を設置できないか②千代田区が主体となり近隣区と広域連合で火葬場の運営を。

答 ①施設の性格上、近隣への設置希望が分かれるため、新規設置の可能性は慎重な検討が必要②都の調査によれば都内火葬場の火葬能力は特段不足する状況にない。

田中 えりか (国民)



バリアフリー整備について

問 ①点字ブロック設置の取り組みの成果検証と戦略性を持ったビジョンは②今後の道路整備におけるバリアフリー化について、区の所見及び取り組みの方向性と方針は。

答 ①今年度調査を実施中、検証結果や新技術・設備等も踏まえ検討②ゼロ段差ブロックの使用等、誰もが安全で快適に歩ける人に優しい道路整備を引き続き進める。

ユニバーサルデザインの推進へ

問 点字ブロックや段差などが車椅子等のバリアとならないよう検討する必要があるのでは。

答 道路整備ではユニバーサルデザインを基本理念とし、全ての人々が安心して円滑に利用できるようにすることが重要。



会派構成に変更がありました

田中えりか議員の所属会派に変更がありました(令和5年10月12日付)

変更前

「#次世代・国民民主・都民ファースト・立憲の会」(略称:次世代)

変更後

「**国民民主党**」(略称:国民)

会派名に変更がありました(令和5年10月13日付)

変更前

「#次世代・国民民主・都民ファースト・立憲の会」(略称:次世代)

変更後

「**#次世代・都民ファースト・立憲の会**」(略称:次世代)

千代田区議会自由民主党議員団の会派の構成員・役職に変更がありました(令和6年1月11日付・1月24日付)詳しくは10面「区議会の会派構成」をご覧ください。

えごし 雄一 (公明)



災害時の情報伝達手段について

問 誰一人取り残されない情報伝達には手段の強化と受け手側の準備が必要①現状の課題と今後の対応は②デジタル機器の使用で幅広い世代が参加可能な防災講座の開催を③防災ラジオの配付対象拡大は。

答 ①それぞれの手段に課題があり重層的な伝達方法の検討を進める②スマートフォン等を使った防災講座の開催等を検討③支援が必要な方へさらなる配付を検討。

キャッシュレス決済の推進

問 ①住民票の写し等の郵送請求にもキャッシュレス決済導入を②粗大ごみ収集申込みはインターネットで可能だが、有料ごみ処理券の購入もキャッシュレス化を。

答 ①広域交付等で郵送請求は減少する見込み。必要性も含め他自治体の動向等を調査研究②23区で現金徴収と統一だが、技術的には可能と考える。導入には23区全体で協議が必要。今後、可能性を検討。

はやお 恭一 (自民党)



区職員の人材育成

問 区民への質の高い行政サービス提供には区職員の人材育成が重要課題①特別区職員採用申込状況の変化②現行採用方法の長所と短所③定数条例改正及び人材育成方針改定後の研修や教育体系の現況は。

答 ①合格者倍率が低下し各区希望どおりの採用が困難②規模を活かせる反面、試験制度等見直しに時間が必要③職場全体で新規職員を育成するOJT研修に注力し、行政課題に対応した研修等も実施。

基本構想と財政運営

問 第4次基本構想には中期的スパンでの具体の基本計画の策定がない①公共施設整備等多額の財源確保をどうするのか②基本構想と各年度予算とのつながりは。

答 ①年度予算概要に施設整備の進捗や保全経費等を見込む投資的経費として掲載②分野別計画や将来像への方針を策定、予算と一体的に示すことで計画性を確保。

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

牛尾 こうじろう (共産党)



介護保険の負担軽減策を求める

問 ①国庫負担増を国に求めるべき②保険料の最高段階を見直し、保険料軽減や上昇抑制に基金の活用を③2割負担対象拡大の影響は。サービス利用に区の支援を。

答 ①特別区長会を通じ財政措置を求めている②次期保険料の算定では最高段階の基準額に対する割合の見直しや多段階化、介護給付費準備基金の活用で増額抑制を図る③サービスの利用控えがないよう制度改正の趣旨を丁寧に周知。区独自の支援策は制度改正の趣旨を踏まえると困難。

日比谷公園の再整備について

問 ①日比谷エリアまちづくり基本構想が伐採を伴うデッキ設置の原点では②整備計画見直しを求める声を都に届けるべき。

答 ①デッキは歩行者ネットワークへの配慮の一つ。都は樹木を保全しての整備を検討と認識②都は説明会等も既に行い、都民の声を聞きながら進めていると認識。

林 則行 (自民党)

(自民党)



教育と文化のまち千代田区宣言

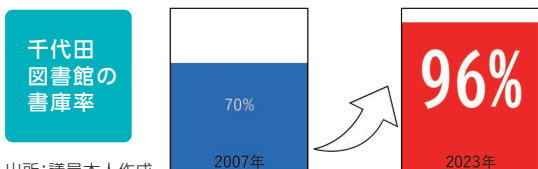
問 ①区の政策体系の中で同宣言の位置づけは②第4次基本構想で同宣言趣旨を反映した箇所は③同宣言趣旨を踏まえた基本構想に基づく来年度予算事業はあるか。

答 ①基本構想実現のため尊重し考慮すべきと位置づけ②明示的な反映はないが宣言を踏まえ進める③構想にひもづく事業はいずれも宣言の趣旨を念頭に推進する。

区立図書館の蔵書と書庫の課題

問 区立図書館の蔵書数と蔵書率の状況は。

答 4年度末で四番町9万3000点、日比谷23万点、昌平約3万点、神田約2万9000点を蔵書。本館は4年度末21万7000点と開館時比5万9000点増、蔵書率は70%から96%に増加。



大坂 隆洋 (自民党)

(自民党)



財源確保に向けた取組み

問 特別区は仕組み自体に税収面で不安定さがある。安定的な財源確保の必要性について区的基本的見解及び今後の対策は。

答 人口増加や社会経済状況の変化により行政需要は今後ますます高まるため、財源の安定的な確保は重要。引き続き特別区長会とも連携し、不合理な税制改正の是正や地方独自の財源確保を求めていく。

連合陸上競技会について

問 区内小中学生の交流の場、一流アスリートと同じ舞台に立てる貴重な機会、2020年東京大会のレガシーを活用できることなどから、新国立競技場を利用した連合陸上競技会を復活させるべきでは。

答 五輪教育で育成してきたスポーツ志向のさらなる醸成、学校間のスポーツ交流を通して他者と関わる楽しさや協働する姿勢を大切にもらうため、来年度に向けて新国立競技場の活用を具体的に検討。

入山 たけひこ (次世代)

(次世代)



防災観点からの区道無電柱化

問 区道の無電柱化率は約30%と国道や都道と比べて低い。景観・防災の面でも有効な無電柱化を進めるべき。区の見解は。

答 無電柱化は安全・安心なまちづくりや良好な景観の創出に寄与すると認識。緊急輸送道路、バリアフリー上重要な路線、通学路等の優先すべき路線を念頭に置きつつ、開発事業との連携を好機と捉え、引き続き区道の無電柱化を推進していく。

実践的な防災訓練の重要性

問 防災まち歩きや避難所での寝泊まり等、地域特性に合わせた実践的訓練を行っている。訓練の新規参加者増に向けた考えは。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により防災訓練を縮小していたが、現在は回復傾向にあり参加型訓練も増えている。今後も参加者の増加に向け、避難所運営協議会と協力し、家族で楽しく防災を学べるメニューの作成等様々な取組みを検討する。

おの でら 亮 (次世代)

(次世代)



私立学校等就学者への支援策は

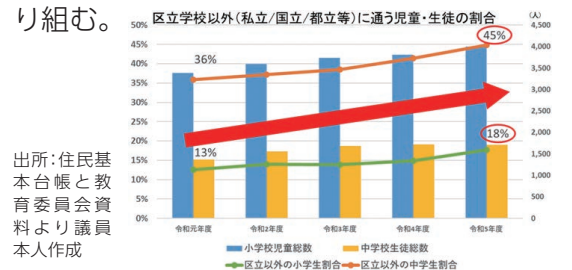
問 区立学校就学者への給食費無償化に伴い、本区で割合の高い私立・国立等の区立学校以外に通う児童・生徒に対する公平性の担保や経済的支援をどう考えるか。

答 国や都との役割分担の上で実施する各種事業により様々な対象者をカバーすることで施策全体として公平性を担保する。

新たな子育て支援策の検討状況

問 本区の地域特性を踏まえた子育て世帯への新たな支援策の検討状況や方向性は。

答 他自治体の先進事例やニーズ把握に努め、総合的な子ども子育て支援施策の体系充実を進め、令和6年度予算で示せるよう取り組む。



Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

桜井 ただし (自民)



火山噴火に対する防災対策は

問 南海トラフ巨大地震は富士山噴火誘発の可能性が高い①複合災害への見解と噴火対策は②自助・共助推進に向け周知は。

答 ①様々な災害発生を想定し耐震化や訓練等を実施、降灰用具等も避難所へ配備②食料備蓄や物品準備の周知に加え、避難所運営協議会等での意識啓発を図る。



出所：富士宮市ホームページ

障害者福祉施策について

問 (仮称) 神田錦町三丁目施設に関し①区の実現は②障害者・高齢者福祉の進捗と課題は。どのような交流が可能か。

答 ①障害福祉プランの基本理念の実現を目指す②就労機会の創出や地域の多様な主体とイベント等を通じた交流等を想定。

のざわ 哲夫 (維新)



一時利用自転車駐車場増設願い

問 区民要望の多い四ツ谷・神田駅周辺に新一時利用制自転車駐車場増設はいかがか。

答 ご指摘の四ツ谷・神田駅周辺に一時利用制自転車駐車場の適地がないか、今後の開発動向等注視し設置の可能性を検討。

秋葉原eスポーツ経済特区構想

問 秋葉原をeスポーツ経済特区に選定し、世界の企業誘致イベント開催等々の国・都・千代田区一体連携支援を国に働きかけ、人口増加、治安良好化、商店街や地域コミュニティ活性化、国際文化都市化は。

答 万世橋、和泉橋地域は既存産業と親和性が高く地域振興の手段の可能性はあるが、ゲーム依存症等のマイナス面の指摘もあり現時点で特区構想実現等は困難であると認識。本区は産業コミュニティ形成支援事業に取り掛かり始めたところ。地域課題解決の観点から今後eスポーツの相乗効果について研究していきたい。

岩佐 りょう子 (次世代)



文化芸術助成の仕組みづくり

問 区民の主体的な文化活動を尊重し支援するために①助言等を行う仕組みをちよだアートスクエアの機能の一つにしては②練習場所の使用料助成制度の新設など全体で見直しが必要では③助成手続きへの専門的・効果的・効率的な事務執行を。

答 ①仕組みの構築に向け次期事業者と協議②主体的な活動の継続につながるか検証し事業全体を点検③アートスクエアが専門性をもって事務執行できないか検討。

重層的支援体制整備について

問 地域共生社会の実現に向け①重層的支援体制整備事業の進捗状況は②社会福祉協議会との役割分担や連携体制は③コミュニティソーシャルワーク事業の今後は。

答 ①庁内連携体制に係る要綱整備等に取り組んでいる②蓄積した地域内の知見等を活用し実働部隊の役割を担う③来年度に社協アキバ分室でのモデル実施を計画。

岩田 かずひと (次世代)



アウトティングに対する区の対応

問 アウトティング*に対する区の見解と取り組みは。他自治体のようにアウトティング禁止を明記した条例制定の考えはあるか。

答 人権を著しく犯すハラスメントとの認識。区内部で注意喚起のほか、ハンドブック等を通じて地域の理解促進を図る。条例制定の予定はないが地域の意識を高め人権侵害がない地域社会構築に取り組む。
*アウトティング:性的指向や性自認について、本人の了解を得ずに第三者に暴露すること

我が区における再開発の進め方

問 ①二番町再開発について、外神田一丁目南部地区と同様に進め方が強引②意見書の取扱いを精査すべく外部監査を行うべき③四番町での超高層化計画の今後は。

答 ①両地区とも適切に進めており、二番町については引き続き都市計画手続の中で意見を伺っていく②重要なのは論理・内容であり、数による判断や属性ごとの意見の集計結果を明確化する考えはない③現時点で区が把握している情報はない。

小枝 すみ子 (声)

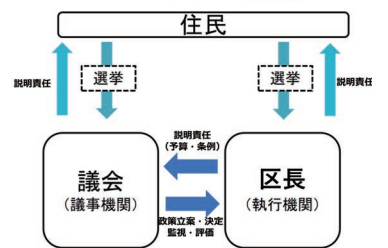


二元代表制について

問 公式・公開の場を避ければ一部の者による裏での調整を許してしまう。区議会所管の委員会という公式・公開の場を重んじることが住民や納税者に疑念を抱かせない正しい行政のあり方である。正しい手続きの下で住民が決めた選択だと将来にわたり思えるのかが区政に問われている。議会軽視は後にさらなる混乱を残すことにはならないか、区の考えを問う。

答 議会は地方公共団体の意思決定及び執行機関の監視機能を担い、同じく直接選挙された首長と相互に牽制することで地方自治の適正な運営を期すると認識。これまでと同様に議会と車の両輪となり区民に疑念を持たれない区政運営に努める。

二元代表制の特徴は、首長と議会が緊張関係にあること



出所：議員本人作成

政治家の寄附行為は禁止されています

政治家(公職の候補者を含む)が、選挙区内の人や団体にお金や物品を贈ることは、時期や理由を問わず禁止されています。

有権者が寄附をするよう勧誘または要求することも禁止されています。政治家(公職の候補者を含む)が地域の行事、会合に出席することがあります。ご注意ください。

これらの行為は全て禁止です!



定例会

活動報告

常任委員会では、区長提出議案20件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案9件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区債権管理条例」は、債権管理に関する事務処理について、新たに条例を制定するもので、一部の規定を除いて、公布の日から施行するものです。

〈審査経過〉

この条例は、債権管理の適正化に関して全庁的な取組みを進める一方で、徴収努力を尽くしてもなお回収見込みのない債権の適切な整理を行い、債権管理のより一層の適正化を図ることを目的としていること。各所管において債権の適正な台帳管理をしているが、同一人物による複数の債権については、部署間の連携などについて、今後も研究していくこと。債権を放棄する場合には、地方税などの公債権の運用も参考にしながら、放棄に至るまでの調査や手続きなど、厳格な対応をしていくこと。放棄した債権の公表方法については、今後も検討していくこと。より適正な債権管理に向けて、事務の統一性を図るためのシステムの導入などについて、今後も研究していくこと等が明らかになりました。

その他、「千代田区役所出張所設置条例の一部を改正する条例」、「(仮称)四番町公共施設新築工事請負契約の一部変更について」等8件を審査しました。



文教福祉委員会

議案8件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「令和5年度千代田区一般会計補正予算第3号」は、神田さくら館の施設一部移転に要する経費として2億3,072万4千円を計上するとともに、予算の不足が見込まれる2事業、こども医療費助成は1億4,500万円、ベビーシッター利用支援は6,315万円を追加計上するものです。補正額は3事業合計で4億3,887万4千円です。

〈審査経過〉

一部施設移転後の神田さくら館7階は千代田小学校で活用予定であり、その対応や経費については別途調整していくこと。ベビーシッター利用支援は、年度末に実績が増大する見込みだが、今回の補正後さらに不足が見込まれる場合には、補助対象となる申請をした方全員に補助できるよう別途予算対応したいと考えていること等が明らかになりました。

「令和5年度千代田区一般会計補正予算第4号」は、「低所得世帯に対する価格高騰特別支援給付金」を1世帯当たり7万円追加給付する経費として、3億5,325万5千円を追加計上するものです。

〈審査経過〉

給付対象世帯の一部には、資産を持っていても、年金生活に入って非課税となった世帯があると思われること。推奨事業メニューの給付対象世帯は、前回実績から想定数を減らしたことが明らかになりました。

その他、「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」等6件を審査しました。

環境まちづくり委員会

議案3件の審査経過は以下のとおりです。

3件の「建物明渡等請求事件に係る訴えの提起について」は、いずれも使用許可を取り消した区民住宅の住戸の明渡し等を求め、訴えの提起をするものです。

〈審査経過〉

本件は、本区では初めての事案であり、委員会として慎重に審査を行いました。

訴えの提起は、事例ごとの状況はあるが、一定程度の考え方を整理し、債権管理の適正化と、滞納や課題を抱える方へ寄り添った対応との調和が取れるよう運用を図っていくことが求められること。

今回の議案は、改めて当事者間の是非を勘案する場である司法の手続きにのっとるための提案であること。議決された場合、訴訟に移り、できる限り和解のなかで調整を図っていく考えであること。裁判所を通して和解ということになれば、その結論を踏まえた債権の取扱いになること等が明らかになりました。

〈討論〉

【賛成の意見】

この3議案は訴えの提起について議決を求めるといふ、住宅の明渡し請求としては本区初の事例である。質疑を通じて、議案提出に至るまでの手続きの改善や、連帯保証人対応の適切な確認、リーガル対応、マンパワー強化の必要性や行政組織内部の横断的対応、議会への議案提出前の丁寧な説明及び報告など、今後において適切に行われることが確認できたので、これらの議案に賛成する。

【小枝】



定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランスフォーメーション特別委員会

令和4年4月に策定した「千代田区DX戦略」で定めた計画期間の中間地点にあたり、進捗状況などの報告がありました。

これまでの成果として、行政手続きガイドや区ポータルサイト、窓口キャッシュレス化の推進などが挙げられ、DXの取組みは着実に進展している一方で、個人情報の流出に対する不安やデジタル人材の不足などの課題があるとの説明がありました。今後は行政のデジタル化への取組みを加速させるとともに、これらの課題を解決するために、区民や企業、大学など、様々な地域主体と連携して「千代田区スマート化推進プロジェクト」を進めることが報告されました。

また、デジタルデバイド対策については、様々な手法を活用して引き続き全庁を挙げて取り組んでいくことが報告されました。

公共施設調査・整備特別委員会

子どもの遊び場についての報告がありました。

公園等で一定の時間を区切り、安全管理をしながら、子どもがボール遊びなどできるようにしている「子どもの遊び場事業」、学校行事がないときに子どもに開放している「校庭開放」、今後遊べるスペースになり得る資源として「オープンスペース(公開空地)」の場所を地図に示して、説明がありました。

質疑の中でオープンスペースの位置づけ・遊び場としての活用状況等を確認し、今後遊び場として活用できる場所・条件等を精査していくこととなりました。



文化継承・コミュニティ活性化特別委員会

令和5年12月5日(火)に、勉強会を開催しました。当日は、神田古書店連盟の顧問である、高山肇氏、八木壯一氏をお招きし、「神保町、本のまちの継承について」をテーマとし、文化の継承及びコミュニティの活性化等を調査・研究するために、神保町古書店街としての歴史や現在の課題を中心に講義をしていただきました。



本会議における討論

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

可決

【賛成の意見】

職員の処遇は住民サービスの質につながり、特に初任給、若年層の改善に重点を置いたことは、公務員を目指す若者を増やす意味でも、就職後の定着促進の意味でも重要である。会計年度任用職員についても正規職員に比べて劣悪だった待遇の改善を評価したい。区には、非正規も含め職員が働きやすい環境を整えるよう、さらに尽力し、併せて物価高騰に苦しむ住民への支援の強化も求め本議案に賛成する。【牛尾】

本会議・委員会を傍聴してみませんか？



本会議や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。千代田区議会ホームページで日程をご確認いただき、区役所8階の議場傍聴席、委員会室へお越しください。

※取材等で撮影、録音をご希望の場合、事前に区役所7階の区議会事務局で申請を行ってください。

本会議の傍聴はインターネットでも！



インターネット中継

千代田区議会ホームページの「インターネット中継」で本会議の生中継及び録画映像の視聴が可能です。右の2次元コードや区議会ホームページからご覧ください。



文字(字幕)配信

インターネット中継の音声が届かない方のために、本会議の内容を文字配信しています。右の2次元コードや区議会ホームページからご覧ください。





委員会で取り扱った請願・陳情 (令和5年10月14日～令和5年12月14日)

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願・陳情名 (受付順に掲載)	送付委員会	審査状況 (令和5年12月14日時点)
外神田一丁目再開発のエリア内の区有施設の情報共有に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発提案に関し事業者と地域住民間の調整を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地の再開発に伴う二番町地区計画変更に関連し、区議会及び都市計画審議会において住民・事業者双方からの直接意見聴取等を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地再開発に伴う二番町地区地区計画変更に関連して区議会及び都市計画審議会の速やかな審議と反対住民の審議遅延行為に毅然とした対応を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
陳情書「二番町日本テレビ本社跡地再開発案に関して、地域住民の意見を出来る限り正確に把握していただきたいこと」について。	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更について「陳情書」	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発の意思決定プロセスに対する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画変更に関する影響調査実施に関する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発案に対する民意の把握を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田清掃事務所及び千代田万世会館の機能更新等に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発による地域活性化を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りII期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
現行の健康保険証の存続を求める陳情	文教福祉委員会	継続審査
健康保険証の存続をするように国に意見書を提出することを求める陳情	文教福祉委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発の直近の事業計画案を示すよう求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
いきいきプラザ一丁目指定管理者の選定について善処の陳情	文教福祉委員会	審査終了
(1)二番町地区地区計画変更案に対し実施された都市計画法16条及び17条意見書の集計・報告の正確さと公正さに関する調査、並びに(2)今後の再度実施される16条・17条に基づく意見書における募集手続き及び集計・報告の正確性と公正さを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例審査前に公共施設である清掃事務所について区民から意見を聞き大方の区民意見を取り入れることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例を審査する前に万世会館の状況を区民へ説明し、区民から意見を聞き、活かすことを求める陳情	企画総務委員会	審査終了
二番町日本テレビ跡地の再開発計画(案)の取り扱いについての陳情	議会運営委員会	審査終了
千代田区二番町地区計画変更に対する区議会環境まちづくり委員会並びに都市計画審議会の委員による充分なる検証実施の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に関して、住民への詳細説明及び都市計画法第16条第1項の公聴会の開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に係る説明会及び意見書の取り扱い方に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画の変更について、広く番町・麴町地域の地域住民を対象とする説明会を至急開催することを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の早期変更を要望する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通り沿道整備推進協議会への参加を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
千代田区議会議員の定数・報酬・政務活動費の削減を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
二番町地区地区計画変更においてサイレントマジョリティである子育て世代の意見を聞き、未来の子供たちのための前向きな議論を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画早期変更に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
教育環境を守る要望書を区議会で受け止め、慎重に審議を進めること求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法17条に基づく「二番町地区地区計画の変更に係る説明会」および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査

委員会の構成変更

議会運営委員会、環境まちづくり委員会の構成が変更になりました。

●議会運営委員会

委員の変更がありました。
(令和6年1月11日付)

変更前

嶋崎 秀彦 議員

変更後

永田 壮一 議員

●環境まちづくり委員会

委員長の変更がありました。
(令和6年1月12日付)

辞任

嶋崎 秀彦 委員長

(令和6年1月24日付で委員辞任)

新任

林 則行 委員長

委員会構成の詳細は区議会ホームページをご覧ください。



議案の審議結果等(令和5年第4回定例会)

可(可決) 否(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

Table with columns for bill name, attendance, and voting results for 25 council members. Includes a section for '区長提出議案' and '報告'.

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名(令和5年12月12日時点)

◇ 会派名 #次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代) / 千代田区議会 自由民主党(自民党) / 千代田区議会自由民主党議員団(自民) / 公明党議員団(公明) / ちよだの声(声) 日本維新の会千代田議員団(維新) / 日本共産党(共産党) / 国民民主党(国民)

区議会の会派構成

※()内は略称

#次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代)

- List of council members and their roles for the #Next Generation, Citizens First, and Constitutional Party (Next Generation).

千代田区議会 自由民主党(自民党)

- List of council members and their roles for the Liberal Democratic Party (LDP).

千代田区議会自由民主党議員団(自民)

- List of council members and their roles for the LDP Council Unit.

公明党議員団(公明)

- List of council members and their roles for the Komeito Council Unit.

ちよだの声(声)

- List of council members and their roles for Chiyoda no Koe (Voice).

日本維新の会千代田議員団(維新)

- List of council members and their roles for the Japanese Renewal Party Chiyoda Council Unit.

日本共産党(共産党)

- List of council members and their roles for the Japanese Communist Party.

国民民主党(国民)

- List of council members and their roles for the National Democratic Party.

令和6年1月24日現在

※嶋崎秀彦氏が、令和6年1月24日付で、千代田区議会議員を辞職しました。

令和5年の議会活動から

請願・陳情

(1) 請願受付・取扱件数

受付件数	採択	不採択	継続審査	審査未了	取り下げ	取り扱い未定等
1	0	1	0	0	0	0

(2) 陳情受付・取扱件数

受付件数	委員会に送付	委員会に参考送付	審査になじまない	取り下げ(送付前)	取り扱い未定等
68	55	3	10	0	0

(3) 送付陳情の審査内容等

①委員会に送付

合計	趣旨に添った取り扱いをすべき	趣旨に添いがたい	引き続き審査していく	その他の取り扱い	取り下げ(送付後)	取り扱い未定等
82	0	0	24	55	1	2

※令和3年から審査していたもの26件を含む。

②委員会に参考送付

合計	趣旨に添った取り扱いをすべき	趣旨に添いがたい	引き続き審査していく	その他の取り扱い	取り下げ(送付後)	取り扱い未定等
4	0	0	2	2	0	0

本会議別議決件数

項目	区長提出議案	委員会提出議案	議員提出議案	請願	報告
第1回定例会	21	1	2	0	4
第1回臨時会	1	0	4	0	0
第2回定例会	14	0	0	1	4
第3回定例会	12	0	0	0	3
第4回定例会	20	0	0	0	4
合計	68	1	6	1	15

全国からの視察 実施件数16件

視察事項	件数
環境モデル都市について	1件
地球温暖化対策・エネルギー対策について	1件
災害備蓄倉庫管理業務の委託について	1件
猫の殺処分ゼロの取組みについて	1件
公契約条例について	1件
子育て施策について	1件
ウォークアブルなまちづくりについて	1件
DXの推進について	2件
子どもの遊び場に関する基本条例、子どもの遊び場事業について	1件
認知症対策について	1件
日比谷図書文化館について	1件
公衆喫煙所設置等助成事業について	2件
戦略的広報について	1件
帰宅困難者対策について	1件

千代田区議会情報公開制度実施状況

(1) 請求種類別請求件数

	請求件数	請求内容			
		本会議関係	委員会関係	政務活動費関係	その他
公文書開示請求	1	0	0	1	0
情報提供請求	2	1	1	0	0
計	3	1	1	1	0

(2) 個人、法人別請求件数(住所・所在地内訳)

		住所又は所在地				合計
		千代田区内	都内(千代田区内を除く)	都外	国外	
公文書開示請求	個人	0	0	0	0	0
	法人等団体	1	0	0	0	1
	計	1	0	0	0	1
情報提供請求	個人	0	0	1	0	1
	法人等団体	0	1	0	0	1
	計	0	1	1	0	2

(3) 請求方法別請求者数内訳

	来庁	郵送	ファクシミリ	電子メール	合計
公文書開示請求	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)
情報提供請求	2	0	0	0	2

※公文書開示請求欄の()内は情報提供扱いとしたものの件数(内数)

(4) 開示等の処理状況内訳

	開示	一部開示	非開示	不存在	合計
公文書開示請求	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
情報提供請求	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)

※()内は自己情報の件数(内数)

(5) 審査請求件数

審査請求	審査会に聴取
0	0

(6) 審査会の聴取結果件数

原処分相当	一部相当	相当でない	審査中	合計
0	0	0	0	0

令和6年第1回定例会の主な日程

2/7(水)	告示日
2/14(水)	招集日
2/21(水)	代表・一般質問
2/22(木)	一般質問
2/26(月)	常任委員会
3/4(月)	特別委員会
3/11(月)	常任委員会
3/14(木)	継続会

※日程は変更となる場合があります



※詳細は区議会ホームページをご覧ください

区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎岩佐 りょう子(次世代)
○富山 あゆみ(次世代)

西岡 めぐみ(自民党)
のぞわ 哲夫(維新)
えごし 雄一(公明)

牛尾 こうじろう(共産党)
はまもり かおり(声)
白川 司(自民)

田中 えりか(国民)



ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp



公式X(旧Twitter)
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai)

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式X(旧Twitter)」も発信していますのでぜひご利用ください。